



町田市立小山田中学校

学校便り

令和6年4月12日発行

発行責任者 岩田哲生

令和6年度がスタートしました。春は希望の季節です。本校にも希望に満ちた131名の新入生を迎え、全校生徒419名で新たなスタートとなりました。保護者の皆様、生徒のみなさん、今年度もよろしくお願いいたします。

入学式の歓迎の言葉（在校生）と誓いの言葉（新入生）を、それぞれの抜粋を紹介します。

歓迎の言葉

桜のつばみと共に希望をふくらませ、今日新たな一歩を踏み出す新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち在校生は皆さんの入学を待ちわびていました。心から歓迎します。中学校生活の中で、私が大切だと思うことを一つ、お伝えします。それは仲間と共に自分も頑張るということです。中学校に入学すると、好きなことだけする、というわけにはいきません。学習や部活動に加え、委員会活動や係活動にも参加することになります。この二つは部活動などとは違い、自分の希望通りにはならないこともあります。そんな時、この仕事はやりたくないと思ってしまうのではなく、同じ仕事をこなす仲間と一緒に自分も頑張ってください。人任せにせず、自分の行動に責任をもつことが大切です。中学校での三年間は皆さんが思っているよりとても短いです。迷っていたらすぐに一年が経ってしまいます。だからこそ、頑張ることが大切ですが、全力で楽しんでください。体育祭や合唱祭、スキー移動教室など、様々な行事がありますが、小学校の時とは違い練習を進めていくのは皆さんです。自分たちで盛り上げていく中で、高い壁が立ちはだかることがあるかと思いますが、そういう時こそ仲間と助け合うべきです。そうすることで、一つ一つの行事が最高の思い出となることでしょう。実行委員やリーダーになりたいなら、とりあえずやってみたり、意見があるなら発言してみたり、迷うならやってみてください。きっとその経験こそが今後生きてきます。今日から小山田中学校生としての自覚をもち、すばらしく、充実した三年間にしてください。何か困ったことがあったら、何でも聞いてください。いつでも皆さんの力になります。これから楽しく共に過ごしていきましょう。

誓いの言葉

待ちに待った桜もついに開花し、ようやく春の本格的な到来を感じさせる今日、私たちは小山田中学校に入学しました。私は初めて中学校の制服に袖を通して、中学生になったのだなぁという実感と、少しの緊張を今感じています。そして、三年間過ごしていく小山田中学校に大きな期待と少しの不安を抱えています。中学校に入学することで、私が何よりも楽しみにしているのは部活動です。部活動では顧問の先生や上級生との関わりもできます。私は剣道部に入るつもりです。頑張れば段が取れるといいなと思っています。体育祭や合唱祭などの行事では、クラスの皆と協力し、良い結果を目指すことで様々な経験をすることになると思うので、とても楽しみです。また、学習面では、小学校になかった定期考査が始まります。これに対しても自分の力を高めるために精一杯頑張ってみようと思っています。一方不安なこととしては、小学校よりも深くなる学びについていけるだろうかということがあります。また新しい環境のもと、先生、上級生、友達と良い関係を築けるだろうかという気持ちもあります。ですが、そんな気持ちになるたびに思い出すのは、幼いころから私たちに携わってくれた先生方や友達、地域の方々の姿です。これまで支えてくれたみんながいたから、たくさんの思い出ができ、悲しいことも乗り越えてくることができました。特に友達は、苦しみや悲しみを半分に分けてくれ、喜びや感動を倍に分けてくれました。友達をはじめ、すべての人と仲良くしていくことを目指して頑張っていきたいと思います。いま述べたように、学習、部活動、行事など、全てのことに切磋琢磨して実りある三年間にすることを誓います。



《令和6年度 教職員の異動及び組織 》

- 人事異動
- 教職員組織（4月12日現在）

『お知らせ』

学校生活において、学習に関すること、アレルギーに関すること、携帯電話の持込みや標準服に関することなど、不安なことや配慮してほしいことなどがございましたら、学校まで遠慮なくご相談ください。